別紙 3

評価項目及び評価基準

1 評価点

評価点の算出方法は、次の合計点数とする。

$$\begin{array}{rcc} \text{技術審査点数} & + & \text{価格審査点数} = \text{合計点数} \\ (600\text{点満点}) & & (100\text{点満点}) & & (700\text{点満点}) \end{array}$$

2 技術審査点の点数化の方法

選定委員 1 人当たりの技術審査点の配点は、100 点とする。また、表 1 評価項目及び配点（以下「表 1」という。）に示す評価項目ごとに、表 2 評価基準（以下「表 2」という。）で示す基準により評価し、各選定委員が項目ごとに算出した点数の合計を技術審査点数とする。なお、各評価項目の点数及び技術審査の点数の計算方法は、次に揚げるとおりとする。※少数点第 2 位まで求める（小数点第 3 位以下は切り捨てる。）。

- (1) 各評価項目の点数＝表 1 の各項目の配点×表 2 の評価による配分率
- (2) 技術審査点数＝前号で算出した各評価項目の点数の合計

表 1 評価項目及び配点

評価項目	評価内容	配点
提案の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の目的を理解し、基本方針に合った提案となっているか。 ・仕様書に記載した必要条件（経営シミュレーション機能等）を満たしているか。 	30
実績・業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・農業関連、自治体関連等の Web 構築・保守運用経験を有しているか。 ・人員配置の適正、実施体制、業務スケジュールが明確であるか。 	10
デザイン・サイト構成	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にとって快適かつ必要な情報に容易にたどりつける操作性や検索性があるか。 ・情報が把握しやすい画面構成になっているか。 ・ユーザビリティ向上のための工夫がなされているか。 	30
アクセシビリティ対応	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もがアクセスしやすく、サービスを利用できるか。 ・モバイル端末対応等は十分に満たしているか。 	5
実施・保守運用体制	<ul style="list-style-type: none"> ・メールや電話等のサポート体制が整っていて、柔軟な打ち合わせ等が可能か。 ・保守運用サポートの内容や更新頻度やスピード等は適切か。 ・不正アクセス、その他システム障害対応を迅速に行う体制が整っているか。 ・アクセス解析やアンケート機能を基に効果検証や改善を実施することができるか。 	15
提案内容・価格の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案資料は、的確な文章表現、作図などの創育工夫、重点箇所の整理等の説明はわかりやすく、説得力があるか。 ・業務に対する積極性が感じられるか。 ・提案内容が価格に見合った内容になっているか。 	10
合計		100

※合計点数が、配点の 6 割を下回る場合には、優先交渉者として選定しない。

表2 評価基準

評価	評価内容	点数の算出方法（配分率）
A	特に優れている	配点 × 100%
B	優れている	配点 × 75%
C	普通	配点 × 50%
D	やや劣る	配点 × 25%
E	劣る	配点 × 0%

3 価格審査の点数化方法

価格審査の配点は、100点とする。内訳として、①履行期間内における Web サイト構築に係る価格は70点、②次年度以降の運用保守価格は30点の配点とする。価格審査における価格審査点数は、次の式によって算出する。

価格審査点数

$$= \{(\text{①最低見積価格} / \text{①提案価格}) \times 70 \text{点}\} + \{(\text{②最低見積価格} / \text{②提案価格}) \times 30 \text{点}\}$$

※少数点第3位以下は切り捨てる。

4 同点の場合

審査の結果、最も合計点数が高い者が複数あるときは、審査委員長が優先交渉者を選定する。